

自然の中で育む“気づく力”

麗澤中学1年生がキャンパス内で「樹木観察」フィールドワークを実施 2026年5月23日（土）廣池学園キャンパス

麗澤中学・高等学校（千葉県柏市／校長：櫻井讓）は、2026年5月23日（土）、中学1年生を対象としたフィールドワーク「樹木観察」を廣池学園キャンパス内で実施いたします。

本活動は、探究学習・キャリア教育・進路指導を一体化した本校独自の教育プログラム「自分（ゆめ）プロジェクト」の一環として行うものです。生徒たちは、豊かな自然環境の中で樹木を観察し、五感を使って自然と向き合うことで、自らの関心や価値観への気づきを深めます。

麗澤中学・高等学校では、中学1年から高校3年までの6年間を通して、「自分とは何か」「どのように生きていくか」を探求する「自分（ゆめ）プロジェクト」を展開しています。中学1・2年では、樹木観察、自然分野の探求学習、南房総でのフィールドワーク、自分史、日本の歴史・文化に触れる学習、職業研究など、自然や社会への理解を深めます。その後、中学3年でのイギリス研修旅行、高校2年での大学教授による学部調査など、学年ごとに多様な体験学習を取り入れながら、生徒一人ひとりの自己理解と将来への視野を広げていきます。

今回の「樹木観察」フィールドワークでは、290種類以上の樹木を有する本校の広大なキャンパス内で自然観察を行います。観察会の冒頭で、千葉大学名誉教授の小林達明氏から講義を受け、「麗澤の森ゾーニング」「生態遷移と攪乱・管理」など麗澤キャンパス内の自然についての知識を深め、指導員の元、8グループに分かれキャンパス内のフィールドワークに出かけます。生徒たちは、観察の中で「気づき・疑問・感動」を記録します。その後、「自然と人間社会」をテーマに、班や個人ごとに設定した課題について調査・考察を行い、プレゼンテーションを通して学びを深めます。さらに、10月末の南房総での2泊3日のフィールドワークで、多様な自然のあり方や人間社会とのつながりを体感し、社会の自然環境問題への視野を広げていきます。

私たちの社会生活は、自然環境と密接につながっています。本活動を通して生徒たちが自然への理解を深め、将来、環境問題解決の担い手として成長していくことを期待しています。

「自分（ゆめ）プロジェクト・樹木観察」概要

- 対象：麗澤中学校 中学1年生 152名
 - 日時：2026年5月23日（土）9：00～12：00
 - 場所：廣池学園キャンパス内
 - 方法：対面型フィールドワーク
 - 講師：小林達明氏（千葉大学名誉教授）
千葉大学園芸学部 学生、自然観察員 数名
- ※雨天時は体育館で別プログラムを実施予定



（昨年のフィールドワークの様子）

【麗澤中学・高等学校について】

麗澤中学・高等学校は昭和10年、創立者の廣池千九郎（法学博士）が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス（千葉県柏市光ヶ丘）に開塾したことから始まります。2015年には中高一貫コースの「叡智コース」を新設。グローバル社会の中で、冷静かつ客観的に物事の本質を見抜き、複雑な諸問題を解決していく総合的な人間力である「叡智」を携えた真のリーダーを育成するため、開校以来、蓄積してきた研究成果と実績を活かし、さらに麗澤らしい教育活動を展開していきます。

【本件に関するお問合せ先】麗澤中学・高等学校 URL: <https://www.hs.reitaku.jp/>

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 TEL: 04-7173-3700 FAX: 04-7173-3716

中高入試・広報課 担当：齋藤（さいとう） Email: web_master@hs.reitaku.jp